

# 自然災害を取り巻く環境の変化 —防災科学の果たす多様な役割—

日時：令和4年10月22日（土）18時15分～19時40分

場所：Zoom ウェビナーによるオンライン開催

主催：（一社）防災学術連携体

## ■ 開催趣旨

自然災害を取り巻く環境が変化しています。時代とともに、災害の要因だけでなく、災害を受ける社会も急激に変わっています。地球温暖化、地形の改変、計画性のない都市のスプロール化、生物多様性の喪失、森林の荒廃など、多くの変化が顕れています。

近年、環境の変化もあり、自然災害と感染症との複合災害、線状降水帯の頻発化、熱海の盛土崩落による土石流、トンガの火山噴火と津波、日本の海底火山の噴火と軽石の漂流など、新たな多様なハザード（危機）と災害が出現しています。また、新たに検討されている日本海溝・千島海溝周辺型地震では、寒冷で平坦で人口密度の低い土地における津波・地震対策が課題になっています。防災に関わる学協会では出現した多様なハザードへの備えという重大な課題に直面しています。

自然災害を取り巻く環境が変化する中で、防災科学が果たすべき役割に焦点を当て、多様な視点から広く意見交換をしたいと思えます。

## ■ プログラム

司会 永野正行（防災学術連携体幹事）

山本佳世子（防災学術連携体幹事）

### 18:15-18:20 趣旨説明

米田雅子（防災学術連携体幹事、東京工業大学特任教授）

### 18:20-19:40 【講演】

#### (1) 熱海の盛土崩落の原因に関する地球科学的研究

日本古生物学会・日本第四紀学会 北村晃寿

#### (2) 地球温暖化対策の再生可能エネルギー開発に伴う土砂災害の増加にどう対処するか

日本応用地質学会 稲垣秀輝

#### (3) 阪神淡路大震災から四半世紀：活断層をめぐる状況

日本活断層学会 鈴木康弘

#### (4) 津波に対してレジリエントなまちづくりにおける堤防のあり方

日本地震工学会 有川太郎

#### (5) 場に刻まれた自然災害記録の空間科学的展開—地図化による人と災害の関わり可視化

日本地図学会 黒木貴一

#### (6) 気象制御へむけた制御容易性・被害低減効果の定量化

水文・水資源学会 小槻峻司

#### (7) 防災につながる地理的知識の普及に向けて

日本地理学会 八反地剛

#### (8) 寒冷地・豪雪地帯における災害対応トレーニング

日本災害医学会 藤原弘之

19:40 閉会挨拶 渦岡良介（防災学術連携体副代表幹事）

## ■ 参加申込

参加希望の方は次によりお申し込みください <https://ws.formzu.net/fgen/S55101142/>  
本セッションのZoomウェビナーのURLは、申し込まれた方々にご連絡すると共に、10月20日頃に防災学術連携体のホームページにも掲載いたします。（防災学術連携体のホームページ：<https://janet-dr.com>）

## 関連シンポジウムのお知らせ：

ぼうさいこくたい2022のセッションにて、シンポジウム「自然災害を取り巻く環境の変化 —防災科学の果たす役割」が別途開催（10月22日16時30分より）されます。こちらにもぜひご参加ください。詳しくは、<https://janet-dr.com/> をご覧ください。